he security policy such as cybersecurity, immigration, counterterrorism, etcAuthor開意,正勝(Okabe, Masakatsu)Publisher慶應整太学Publication year2018Jittle学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)JaLC DOI7ランスの治安対策・治安法制全般や、日本国内の治安対策につき継続的に研究を行ったが、特に、 サイバーセキュリティ、テロ対策等について研究を進め、所要の研究成果を、論文集、 警察政策学会誌等において公表した。 海外調査研究においては、2017年3月 - 4月に、 フランス、トゥールーズ第一大学警察学研究所を訪問し、 日本の警察や治安制度に関するフランス語による講演を行うとともに、 同研究所所長ほかとフランスの治安制度、満安力策等に関し意見交換を行った。さらに、 2018年2月には、アランス・アルビ市所在のUMD(仏全土では100所ある処遣困難な精神障害者の 治療施設、他法精神障害者問題について、同センター所長ほかと変見交換を行った。 日本国内の諸制度・諸対策を含めた治安対策等に関しては、2017年8月、 慶應整数大学SFCは低のオープン・リサーチ・フォーラム(ORF)において、 「社会安全政策・警察学の未来」と題し、 同ラホ設置記念のセッションを開催した。同セッションにおいては、 警察政策学会・社会安全政策や警察学研究所長でもある京都産業大学総合政策学部・堤和通教授、 京都産業大学社会安全・警察学研究所長でもある京教産業大学総合政策学部・堤和通教授、 京都産業大学社会安全・警察学研究所長でもある京教産業大学総合政策学部・堤和通教授(元警家大学 校長)をパネリストに招き、ラボ構成員とともにミニパネルを実施し、実務家、 研究考察数十名の参加な得た。 I published some articles about the public Safety policies in France and in Japan. As the research visit in foreign countries, I visited the Police Studies Research Center of Toulouse to university in April 2017. I gave the lecture about the Japanese police system and public safty policies in France and in Japan. As the research visit in foreign countries, I visited the Police Studies Research Center of Toulouse to university in April 2017. I gave the lecture about the Japanese police system and public safty policies in France. I also visited the UMD in Abi (France) in February 2018. UMD is the care unit in the psychiatry, especially for difficult patients such as the patients. For the domestic security matters, I established the "Public Safety Policy and Police Studies Laboratory" at the SFC Research Institute. At 23th November 2017, I organized the session "Future of the Public Safety Policy and Police Studies" at the occasion of SFC Open Research Forum (ORF).N	Kelo Associated Repos	itory of Academic resouces						
the security policy such as cybersecurity, immigration, counterterrorism, etc           Author         岡部,正勝(Okabe, Masakatsu)           Publication year         2018           Juilie         学事振興賞金研究成果実績報告書(2017.)           Jal C DOI         フランスの治安対策・治安法制全般や,日本国内の治安対策につき継続的に研究を行ったが,特に、 サイバーセキュリティ,テロ対策等について研究を進め,所要の研究成果を,論文集、 警察政策学会誌等において公表した。 海外調査研究においては、2017年3月 - 4月に、 フランス、トゥールーズ第一大学警察学研究所を訪問し、 日本の警察や治安対側に関するフランス語による講演を行うとともに、 同研究所所長ほかとフランスの治安対策等に関し意見交換を行った。さらに、 同研究所所長ほかとフランスの治安対策等に関したよる講演を行うとともに、 同研究所所長ほかとフランスの治安対策を書のた治安対策等に関しては10分析ある処道困難な精神障害者の 治療施設、他法精神障害者対策で重要な役割を実す。さ診問心、 フランスにおける触法精神障害者問題について、同センター所長ほかと意見交換を行った。 日本国内の諸制度・諸対策を含めた治安対策全般に関しては、2017年3月、 慶應義塾大学SFCE研究所に、 新たな研究プラットフォームとして「社会安全政策・警察学ラボ」を設置するとともに、 2017年1月23日、慶應義塾大学SFC主催のカープン・リサーチ・フォーラム(ORF)において、 「社会安全政策・警察学の未来」と題し、 同ラボ設置記念のセッションを開催した。同セッションにおいては、 警察政策学会・社会安全政策教育研究部会の部会長でもある中央大学総合政策学部・堤和通教授, 京都産業大学社会安全・警察学研究所長でもある京都産業大学法学部・田村正博教授(元警察大学 成長パネリストに招き、ラボ構成員とともにミニパネルを実施し、実務家、 研究者等数十名の参加な得た。 」 published some articles about the public safety policies In France and in Japan. As the research visit in foreing countries, 1 visited the Police Studies Research Center of Toulouse 1 university in April 2017. 1 gave the lecture about the Japanese police system and public safty policies in france.           I also visited the Public Safety Police Studies Research Center of Toulouse 1 university in April 2017. 1 gave the lecture about the Japanese police system and public safty policies in france.           I also visited the UMD in Albi (France) in February 2018. UMD is the care unit in the psychiatry, especially for difficult patients such as the patients who committed crimes. I discussed the director about the problems of the care and treatment of such patients. For the domestic security matters, 1 established the "Public Safety Policy and Police S	Title							
Publisher         歴感義塾大学           Publication year         2018           Jittle         学事振興資金研究成果実績報告書(2017.)           JaLC DOI         Abstract           アランスの治安対策・治安法制全般や、日本国内の治安対策につき継続的に研究を行ったが、特に、 サイバーセキュリティ、テロ対策等について研究を進め、所要の研究成果を、論文集、 警察政策学会誌等においてな表した。 海外調査研究においては、2017年3月-4月に、 フランス・トゥールーズ第一大学警察学研究所を訪問し、 日本の警察や治安制度に関するフランス部による講演を行うとともに、 同研究所所長なかとフランスの治安制度、治安対策等に関し意見交換を行った。さらに、 2018年2月には、フランス、アレッールに告所在のUMD(仏会士では10か所ある処遇困難な精神障害者の 治療施設。触法精神障害者対策で重要な役割を果たす。)を訪問し、 フランスにおける触法精神障害者問題について、同センター所長日かと意見交換を行った。 日本国内の諸制度・諸対策を含めた治安対策全般に関しては、2017年8月、 慶應義塾大学SFC研究所に、 新たな研究ブラットフォームとして「社会安全政策、警察学ラボ」を設置するとともに、 2017年11月23日、慶應義塾大学SFC主催のオープン・リサーチ・フォーラム(ORF)において、 「社会安全政策、警察学の未来」と題し、同セッションにおいては、 冒察政策学会・社会安全政策教育研究部会の部会長でもある中央大学総合政策学部・堤和遇教授、 家都産業大学社会安全・登察学研究所長でもある家都産業大学法学部・田村正博教授(元警察大学 校長)をパネリストに招き、ラボ構成員とともにミニバネルを実施し、実務家、 研究者等数十名の参加を得た。 I published some articles about the public safety policies in France and in Japan. As the research visit in forign countries, 1 visited the Police Studies Research Center of Toulouse 1 university in April 2017. 1 gave the lecture about the Japanese police system and public safty policies in France. I also visited the UMD in Albi (France) in February 2018. UMD is the care unit in the psychiatry, especially for difficult patients such as the patients who committed crimes. I discussed the director about the problems of the care and treatment of such patients. For the domestic security matters, I established the "Public Safety Policy and Police Studies Laboratory" at the SFC Research Institute. At 23th November 2017, I organized the session "Future of the Public Safety Policy and Police Studies Laboratory" at the SFC           Research Paper         Research Paper	Sub Title	Researches about the laws and regulations of public safety and order in France. Researches about the security policy such as cybersecurity, immigration, counterterrorism, etc						
Publication year         2018           Jittle         学事振興資金研究成果実績報告書(2017.)           JaLC DOI	Author							
Jittle         学事振興資金研究成果実績報告書(2017.)           JaLC DOI           Abstract         フランスの治安対策・治安法制全般や、日本国内の治安対策につき継続的に研究を行ったが、特に、 サイバーセキュリティ、テロ対策等について研究を進め、所要の研究成果を、論文集、 警察政策学会誌等において公表した。 海外調査研究においては、2017年3月 - 4月に、 フランス・トゥールーズ第一大学警察学研究所を訪問し、 日本の警察や治安制度に関するフランス語による講演を行うとともに、 同研究所所長ほかとフランスの治安制度、治安対策等に関し意見交換を行った。さらに、 2018年2月には、フランス・アルビ市所在のUMO(仏全土では10か所ある処遇困難な精神障害者の 治療施設。触法精神障害者対策で重要な役割を果たす。)を訪問し、 フランスにおける触法精神障害者問題について、同センター所長ほかと意見交換を行った。 日本国内の諸制度・諸対策を含めた治安対策全般に関しては、2017年8月、 慶應義塾大学SFC研究所に、 新たな研究プラットフォームとして「社会安全政策・警察学ラボ」を設置するとともに、 2017年11月23日、慶應義塾大学SFC主催のオープン・リサーチ・フォーラム(ORF)において、 「社会安全政策・警察学の未来」と題し、 同ラポ設置記念のセッションを開催した。同セッションにおいては、 警察政策学会・社会安全政策教育研究部会の部会長でもある中央大学総合政策学部・堤和通教授、 京都産業大学社会安全・警察学研究所長でもある京都産業大学法学部・田村正博教授(元警察大学 校長)をパネリストに招き、ラボ構成員とともにミニパネルを実施し、実務家、 研究者等数十名の参加を得た。 」published some articles about the public safty policies in France and in Japan. As the research visit in foreign countries, 1 visited the Police Studies Research Center of Toulouse 1 university in April 2017. 1 gave the lecture about the Japanese police system and public safty policies in french language. I also changed knowledges and opinions about the security policies in France. I also visited the UMD in Albi (France) in February 2018. UMD is the care unit in the psychiatry, especially for difficult patients such as the patients. Mo committed crimes. I discussed the director about the problems of the care and treatment of such patients. For the domestic security matters, I established the "Public Safety Policy and Police Studies Laboratory" at the SFC Research Institute. At 23th November 2017, 1 organized the session "Luture of the Public Safety Policy and Police Studies" at the occasion of SFC Open Research Forum (ORF).           Notes         Genre	Publisher	慶應義塾大学						
JaLC DOI           Abstract         フランスの治安対策・治安法制全般や、日本国内の治安対策につき継続的に研究を行ったが、特に、 サイバーセキュリティ、テロ対策等について研究を進め、所要の研究成果を,論文集、 警察政策学会話等において公表した。 海外調査研究においては、2017年3月 ~ 4月に、 フランス・トゥールーズ第一大学警察学研究所を訪問し、 日本の警察や治安制度に関するフランス語による講演を行うとともに、 同研究所所長ほかとフランスの治安制度、治安対策等に関し意見交換を行った。さらに、 2018年2月には、フランス・アルビ市所在のUMD(仏全士では10か所ある処遇困難な精神障害者の 治療施設。触法精神障害者対策で重要な役割を果たす。)を訪問し、 フランスにおける触法精神障害者的規定で取りないの形ある処遇困難な精神障害者の 治療施設。触法精神障害者対策で重要な役割を果たす。)を訪問し、 フランスにおける触法精神障害者のた治安対策多能関してし、2017年8月、 慶應義塾大学SFC研究所に、 新たな研究プラットフォームとして「社会安全政策・警察学ラボ」を設置するとともに、 2017年11月23日、慶應義塾大学SFC主催のオープン・リサーチ・フォーラム(ORF)において、 「社会安全政策、警察学の未来」と題し、 同ラボ設置記念のセッションを開催した。同セッションにおいては、 警察政策学会・社会安全政策教育研究部会の部会長でもある中央大学総合政策学部・堤和通教授、 京都産業大学社会安全。警察学研究所長でもある京都産業大学法学部・田村正博教授(元警察大学 校長)をパネリストに招き、ラボ構成員とともにミニパネルを実施し、実務家、 研究者等数十名の参加を得た。 I published some articles about the public safety policies in France and in Japan. As the research visit in foreign countries, I visited the Police Studies Research Center of Toulouse 1 university in April 2017. I gave the lecture about the Japanese police system and public safty policies in french language. I also changed knowledges and opinions about the security policies in France. I also visited the UMD in Albi (France) in February 2018. UMD is the care unit in the psychiatry, especially for difficult patients such as the patients. Mo committed crimes. I discussed the director about the problems of the care and treatment of such patients. For the domestic security matters, I established the "Public Safety Policy and Police Studies Laboratory" at the SFC Research Institute. At 23th November 2017. I organized the session "Future of the Public Safety Policy and Police Studies" at the occasion of SFC Open Research Forum (ORF).	Publication year	2018						
Abstract         フランスの治安対策・治安法制全般や、日本国内の治安対策につき継続的に研究を行ったが、特に、 サイバーセキュリティ、テロ対策等について研究を進め、所要の研究成果を,論文集、 警察政策学会誌等において公表した。 海外調査研究においては、2017年3月 - 4月に、 フランス、トゥールーズ第一大学警察学研究所を訪問し、 日本の警察や治安制度に関するフランス語による講演を行うたともに、 同研究所所見ほかとフランスの治安制度、治安対策等に関し、意見交換を行った。さらに、 2018年2月には、フランス・アルビ市所在のUMO(仏全士では10か所ある処遇困難な精神障害者の 治療施設。触法精神障害者問題について、同センター所長ほかと変見交換を行った。 日本国内の諸制度・諸対策を含めた治安対策全般に関しては、2017年8月、 慶應義塾大学SFC研究所に、 新たな研究プラットフォームとして「社会安全政策・警察学ラボ」を設置するとともに、 2017年11月23日、慶應義塾大学SFC主催のオープン・リサーチ・フォーラム(ORF)において、 「社会安全政策・警察学の未来」と題し、 同プポ設置記念のセッションを開催した。同セッションにおいては、 警察政策学会・社会安全政策教育研究部会の部会長でもある中央大学総合政策学部・堤和通教授、 京都産業大学社会安全・警察学研究所長でもある京都産業大学法学部・田村正博教授(元警察大学 校長)をパネリストに招き、ラボ構成員とともにミニパネルを実施し、実務家、 研究者等数十名の参加を得た。 I published some articles about the public safety policies in France and in Japan. As the research visit in foreign countries, I visited the Police Studies Research Center of Toulouse 1 university in April 2017. I gave the lecture about the Japanese police system and public safty policies in french language. I also changed knowledges and opinions about the security policies in France. I also visited the UMD in Albi (France) in February 2018. UMD is the care unit in the psychiatry, especially for difficult patients such as the patients who committed crimes. I discussed the director about the problems of the care and treatment of such patients. For the domestic security matters, I established the "Public Safety Policy and Police Studies Laboratory" at the SFC Research Institute. At 23th November 2017, I organized the session "Future of the Public Safety Policy and Police Studies" at the occasion of SFC Open Research Forum (ORF).           Notes         Genre         Research Paper	Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書(2017.)						
サイバーセキュリティ、テロ対策等について研究を進め、所要の研究成果を,論文集, 警察政策学会誌等において公表した。 海外調査研究においては、2017年3月 ~ 4月に、 フランス・トゥールーズ第一大学警察学研究所を訪問し、 日本の警察や治安制度に関するフランス語による講演を行うとともに、 同研究所所長ほかとフランスの治安制度、治安対策等に関し意見交換を行った。さらに、 2018年2月には、フランス・アルビ市所在のUMD(仏全土では10か所ある処遇困難な精神障害者の 治療施設。触法精神障害者対策で重要な役割を果たす。)を訪問し、 フランスにおける触法精神障害者問題について、同センター所長ほかと意見交換を行った。 日本国内の諸制度・諸対策を含めた治安対策全触に関しては、2017年8月、 慶應義塾大学SFC研究所に、 新たな研究プラットフォームとして「社会安全政策・警察学ラボ」を設置するとともに、 2017年11月23日、慶應義塾大学SFC全進のオープン・リサーチ・フォーラム(ORF)において、 「社会安全政策・警察学の未来」と題し、 同プポ設置記念のセッションを開催した。同セッションにおいては、 警察政策学会・社会安全政策教育研究部長でもある市央大学総合政策学部・堤和通教授、 京都産業大学社会安全・警察学研究所長でもある京都産業大学法学部・田村正博教授(元警察大学 校長)をパネリストに招き、ラボ構成員とともにミニパネルを実施し、実務家、 研究者等数十名の参加を得た。 I published some articles about the public safety policies in France and in Japan. As the research visit in foreign countries, I visited the Police Studies Castery policies in France and in Japan. As the research visit in foreign countries, I visited the Police Studies caster of Toulouse 1 university in April 2017. I gave the lecture about the Japanese police system and public safty policies in french language. I also changed knowledges and opinions about the security policies in France. I also visited the UMD in Albi (France) in February 2018. UMD is the care unit in the psychiatry, especially for difficult patients such as the patients. For the domestic security matters, I established the "Public Safety Policy and Police Studies Laboratory" at the SFC Research Institute. At 23th November 2017, I organized the session "Future of the Public Safety Policy and Police Studies" at the occasion of SFC Open Research Forum (ORF).           Notes	JaLC DOI							
Notes     Image: Constraint of the second seco	Abstract	<ul> <li>サイパーセキュリティ,テロ対策等について研究を進め,所要の研究成果を,論文集, 警察政策学会話等において公表した。</li> <li>海外調査研究においては,2017年3月~4月に、</li> <li>フランス・トゥールーズ第一大学警察学研究所を訪問し、</li> <li>日本の警察や治安制度に関するフランス語による講演を行うとともに、</li> <li>同研究所所長ほかとフランスの治安制度,治安対策等に関し意見交換を行った。さらに、</li> <li>2018年2月には、フランス・アルビ市所在のUMD(仏全土では10か所ある処遇困難な精神障害者の 治療施設。触法精神障害者問題について、同センター所長ほかと意見交換を行った。</li> <li>日本国内の諸制度・諸対策を含めた治安対策全般に関しては、2017年8月、</li> <li>慶應義塾大学SFC研究所に、</li> <li>新たな研究プラットフォームとして「社会安全政策・警察学ラボ」を設置するとともに、</li> <li>2017年11月23日、慶應義塾大学SFC主催のオープン・リサーチ・フォーラム(ORF)において、</li> <li>「社会安全政策、警察学の未来」と題し、</li> <li>同プボ設置記念のセッションを開催した。同セッションにおいては、</li> <li>警察政策学会・社会安全政策教育研究部会の部会長でもある中央大学総合政策学部・堤和通教授、</li> <li>京都産業大学社会安全・警察学研究所長でもある京都産業大学法学部・田村正博教授(元警察大学校長)をパネリストに招き、ラボ構成員とともにミニパネルを実施し、実務家、</li> <li>研究者等数十名の参加を得た。</li> <li>I published some articles about the public safety policies in France and in Japan.</li> <li>As the research visit in foreign countries, 1 visited the Police Studies Research Center of Toulouse 1 university in April 2017. I gave the lecture about the Japanese police system and public safty policies in France.</li> <li>I also visited the UMD in Albi (France) in February 2018. UMD is the care unit in the psychiatry, especially for difficult patients such as the patients.</li> <li>For the domestic security matters, I established the "Public Safety Policy and Police Studies Laboratory" at the SFC</li> <li>Research Institute. At 23th November 2017, I organized the session "Future of the Public Safety</li> </ul>						
Genre Research Paper	Notes							
		Research Paper						
	URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000001-20170206						

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2017 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

				_,							
	所属	総合政策学部	職名	姳	教授(有期)	- 補助額	300 (/	(•)	тш		
研究代表者		岡部 正勝	氏名(芬	英語)	Masakatsu OKABE			A) -	τĦ		
—————————————————————————————————————											
フランスにおける治安機関の組織・権限法令及びサイバーセキュリティ、移民対策、テロ対策等の治安政策に関する総合的研究											
·····································											
Researches about the laws and regulations of public safety and order in France. Researches about the security policy such as											
cybersecurity, immigration, counterterrorism, etc											
1. 研究成果実績の概要											
フランスの治安対策・治安法制全般や、日本国内の治安対策につき継続的に研究を行ったが、特に、サイバーセキュリティ、テロ対策											
等について研究を進め、所要の研究成果を、論文集、警察政策学会誌等において公表した。											
海外調査研究においては、2017 年 3 月~4 月に、フランス・トゥールーズ第一大学警察学研究所を訪問し、日本の警察や治安制度											
に関するフランス語による講演を行うとともに、同研究所所長ほかとフランスの治安制度、治安対策等に関し意見交換を行った。さら											
に、2018 年 2 月には、フランス・アルビ市所在の UMD(仏全土では 10 か所ある処遇困難な精神障害者の治療施設。触法精神障害者 対策で重要な役割を果たす。)を訪問し、フランスにおける触法精神障害者問題について、同センター所長ほかと意見交換を行った。											
		を含めた治安対策全般に関し									
		察学ラボ」を設置するとともに									
		安全政策・警察学の未来」と題									
		「研究部会の部会長でもある中									
		と学部・田村正博教授(元警察; ヮた得た	<b>大子</b> 校長。	)をハ	ドリストに招さ、フボ構成員と	ともにミニハネノ	レを実力	他し、	天		
務家、研究者等数十名の参加を得た。 2.研究成果実績の概要(英訳)											
• • • •											
-		ut the public safety policies in I				university in An	:1 2017	Iro			
As the research visit in foreign countries, I visited the Police Studies Research Center of Toulouse 1 university in April 2017. I gave the lecture about the Japanese police system and public safty policies in french language. I also changed knowledges and opinions											
about the secu											
I also visited t	ne UMD in Alb	i (France) in February 2018. UI	MD is the	e care	unit in the psychiatry, espec	ially for difficult	patien	ts su	ich		
		d crimes. I discussed the direc					atients				
		tters, I established the "Public lovember 2017, I organized the					+dia a'	′ .+ +	-ha		
		rch Forum(ORF).	e session	i rull	ire of the Public Safety Polic	cy and Police S	tudies	all	Lrie		
	e open need										
		3. 本研	研究課題に	に関す	る発表						
発表 (著者・	皆氏名 講演者)	発表課題名 (著書名・演題)		(著	発表学術誌名 「書発行所・講演学会)	学術誌系 (著書発行年月	と行年」 ・講社	月 寅年月	月)		
岡部正勝		サイバー空間の安全			安全政策論』278-297 頁、 策学会編、立花書房	2018 年 4 月					
岡部正勝		テロ対策			安全政策論』298-317 頁、 策学会編、立花書房	2018 年 4 月					
岡部正勝		インターネットによる「過激化	_		るテロリズムと法 各国に	2017 年 10 月					
		-フランスのテロ対策におけ			(自由と安全)法制の動向』						
		ターネット関連規制等についる			40 頁、大沢秀介 · 新井誠 · 聡編著、弘文堂						